

■ 赤ペンPDF

はじめての方へ

赤ペンPDFの 始め方

PDFを改変せずに、赤ペンで書き込む。
5分で分かる、赤ペンPDFの基本。

対応OS : Windows / macOS 個人・学習目的は無料

こんな悩み、抱えていませんか？

PDFに書き込みただけなのに、既存のツールでは意外とうまくいかない。赤ペンPDFは、こんな方々のために作られました。

教育関係者

「答案にたくさん書き込みたいけど、紙は紛失も怖いし、みんなで共有しづらい…」

→ 赤ペンで自由に添削、データのまま共有・保管できる

士業関係者（弁護士・税理士など）

「契約書に注記したいが、原本を少しでも改変すると証拠能力に関わる気がして踏み切れない…」

→ 原本は一切書き換えない非破壊注釈だから安心

設計・建築関係者

「図面に指摘を入れただけなのに、わざわざ印刷して手書きするのは二度手間…」

→ 画面上でそのまま矢印・矩形を使って指摘できる

医療関係者

「クラウド型ツールは院内規定でNG。でも高機能なオフラインツールは高くて手が出ない…」

→ 完全オフラインで動作、個人・学習目的は無料

一般ビジネスパーソン

「取引先から届いたPDFに赤入れして返したいけど、会社にAcrobatが無い…」

→ 無料でダウンロードして、その日からすぐ使える

出版・品質管理など

「校正や検査の記録を電子化したいが、原本を改ざんしていないと証明する手段が欲しい…」

→ SHA-256で改ざんも自動的に検知できる

そんな悩みに、赤ペンPDFが答えます

PDFに書き込む。原本は、変えない。

赤ペンPDFは、PDFファイルそのものを一切改変せずに、注釈だけを重ねて書き込めるデスクトップアプリです。

紙の書類に赤ペンで書き込む感覚で、マウス・タッチ・ペンタブレットを使って直感的に注釈を入れられます。書き込んだ内容は元のPDFとは別の専用ファイル（.akpdf）に保存されるため、原本はいつまでもそのままです。

教育・士業・設計・医療など、"原本の信頼性" が重要な業界のために作られています。



実際の編集画面（サンプル文書）

他のPDFツールとの違い

Adobe Acrobat やクラウド型ツールと比べると、赤ペンPDFの立ち位置がわかります。

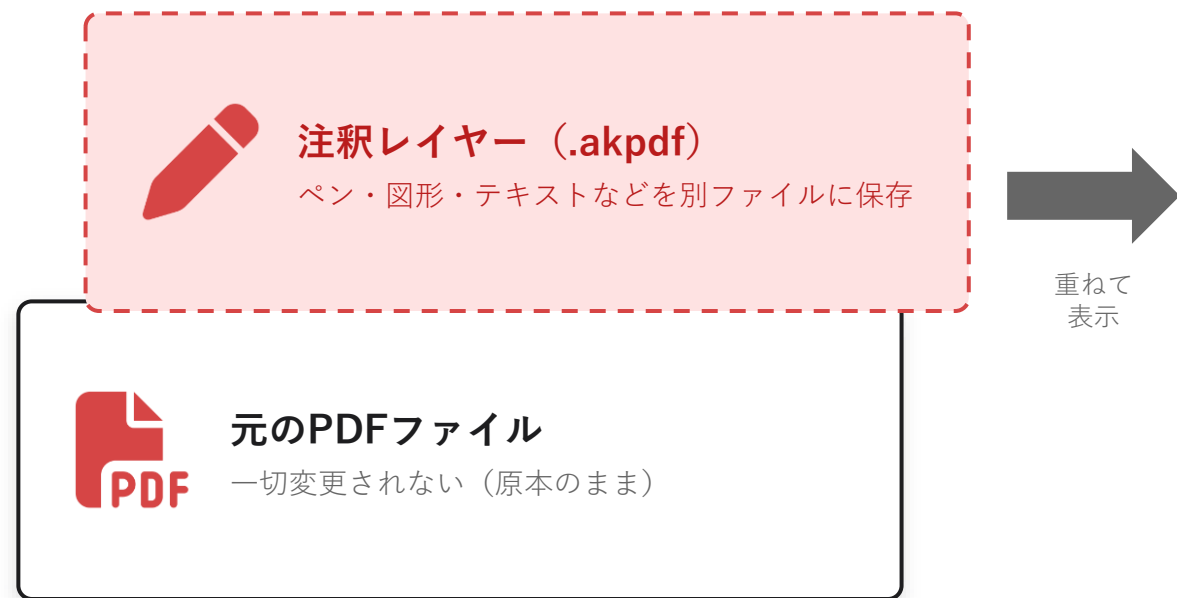
比較項目	赤ペンPDF	Adobe Acrobat など	クラウド型ツール
PDF原本への影響	改变しない（非破壊）	ファイル自体を書き換え	ファイル自体を書き換え
オフライン動作	完全オフライン対応	製品による	基本的に不可（要ネット接続）
改ざん検知	SHA-256で自動検知	標準機能では非対応	標準機能では非対応
価格	個人利用は無料 / 買い切り	月額サブスクリプション	月額サブスクリプション
操作の学習コスト	低い（赤ペンに特化）	高い（多機能）	中程度

※ 一般的な製品・サービスとの比較の一例です。機能や料金は各社の提供状況により変わります。

■ HOW IT WORKS

「非破壊注釈」の仕組み

注釈は透明なレイヤーとして重ねるだけ。PDF本体のデータは1バイトも変更されません。



いつでも取り消せる

.akpdfを消せば、元の見た目に瞬時に戻せます。



改ざんも検知できる

SHA-256ハッシュで原本の同一性を検証します。



共有もPDFで可能

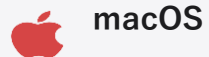
必要な時だけ注釈を合成したPDFを書き出せます。

動作環境・料金

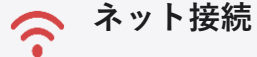
動作環境



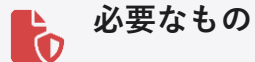
Windows 10 以上 (x86_64)



macOS 12 以上 (Apple Silicon)



不要 (完全オフライン動作)



Windowsは WebView2 ランタイム (多くの環境でプリインストール済み)

料金プラン

個人・学習目的

無料 無期限・全機能

個人利用・教育目的での使用が対象。機能制限は一切ありません。

商用利用

¥2,480 買い切り

ビジネス・法人・営利目的での使用が対象。一度の購入で永続利用可能 (Windows 版はmacOSでも使用可)。現在、新規受付は一時停止中です。

インストール方法



Windows

- 1 ダウンロードした EXE ファイルをダブルクリック
- 2 インストーラーの指示に従ってインストール
- 3 スタートメニューから「赤ペンPDF」を起動

※ WebView2 ランタイムが必要です (Windows 10/11では通常プリインストール済み)



macOS

- 1 ダウンロードした DMG ファイルをダブルクリック
- 2 「赤ペンPDF.app」を Applications フォルダへドラッグ
- 3 Launchpad または Applications から起動

※ 初回起動時に「開発元を確認できない」と表示された場合は、システム設定 → プライバシーとセキュリティ から許可してください

はじめての使い方 3ステップ

1

PDFを開く



ウィンドウにPDFをドラッグ&ドロップ、または「PDFを読み込む」ボタンでファイルを選択。

2

赤ペンで書き込む



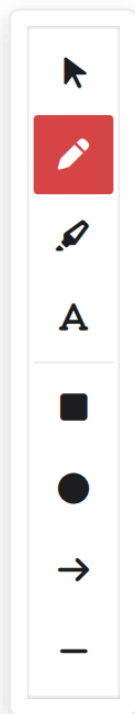
左のツールバーからペンを選び、そのまま描くだけ。色や太さは右のパネルで調整できます。

3

保存 or 書き出す

Ctrl+S で注釈を保存（原本は不変）。相手に渡すときはエクスポートで1枚のPDFに書き出せます

覚えておきたい基本操作



画面左：描画ツール
(ペン／マーカー／テキスト／図形 など)

Ctrl + S

保存 注釈を .akpdf として保存します（原本のPDFは変わりません）

Ctrl + Z

元に戻す 直前の描画操作を取り消します

Ctrl + Y

やり直す 取り消した操作をやり直します（Ctrl+Shift+Z でも可）

ツールバーのクリック

ツール切替 左側の縦アイコンから、ペン・マーカー・テキスト・図形などを選択

ドラッグ & ドロップ

ファイルを開く PDFや.akpdfを直接ドロップ、または画面下の「開く」ボタンで切替

■ NEXT STEP

もっと詳しく知りたい方へ

ここまでで基本の使い方は一通りご紹介しました。テキスト注釈・図形ツール・検索・改ざん検知など、全機能の詳しい使い方は「赤ペンPDF ユーザーマニュアル」にまとめています。



赤ペンPDF ユーザーマニュアル

全機能を網羅した詳細ガイド。ユースケースや操作手順を機能ごとに解説。



FAQ（よくある質問）

起動しない、ハッシュが一致しないなど、困ったときはWebサイトのFAQへ。



ダウンロードページ

最新版のインストーラーや、対応OSごとのファイルはこちらから。

赤ペンPDF公式サイト：<https://akapenpdf.com>



さあ、赤ペンPDFを始めよう

個人・学習目的なら、今すぐ無料でお使いいただけます。
PDFを開いて、赤ペンで書き込むだけ。原本はそのままです。

<https://akapenpdf.com/download>